



モジュラ サーバハードウェア管理

- [モジュラ サーバ管理, 2 ページ](#)
- [モジュラ サーバのブート, 2 ページ](#)
- [サービス プロファイルからのラックマウント サーバのブート, 2 ページ](#)
- [モジュラ サーバのブート順序の決定, 3 ページ](#)
- [モジュラ サーバのシャットダウン, 3 ページ](#)
- [サービス プロファイルからのサーバのシャットダウン, 4 ページ](#)
- [モジュラ サーバのリセット, 5 ページ](#)
- [モジュラ サーバの再認識, 5 ページ](#)
- [モジュラ サーバからのインバンド設定の削除, 6 ページ](#)
- [サーバの稼働停止, 7 ページ](#)
- [モジュラ サーバの再稼働, 7 ページ](#)
- [サーバのロケータ LED のオン/オフ切り替え, 8 ページ](#)
- [モジュラ サーバのローカルディスクのロケータ LED のオン/オフ切り替え, 8 ページ](#)
- [モジュラ サーバの CMOS のリセット, 9 ページ](#)
- [モジュラ サーバの CIMC のリセット, 9 ページ](#)
- [サーバからの NMI の発行, 10 ページ](#)
- [サーバのヘルス イベントの表示, 11 ページ](#)
- [ヘルス LED アラーム, 12 ページ](#)
- [モジュラ サーバの POST 結果の表示, 13 ページ](#)

モジュラサーバ管理

Cisco UCS M シリーズで導入されたモジュラサーバは、コンピュータカートリッジに格納されています。カートリッジからサーバを削除することはできません。

モジュラサーバのブート

[Actions] 領域で [Boot Server] リンクがグレー表示されている場合は、まず、サーバをシャットダウンする必要があります。

手順

-
- ステップ 1 [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。
 - ステップ 2 [Equipment] > [Chassis] > [Chassis Number] > [Cartridges] > [Cartridge Number] > [Servers] の順に展開します
 - ステップ 3 ブートするサーバを選択します。
 - ステップ 4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。
 - ステップ 5 [Actions] 領域の [Boot Server] をクリックします。
 - ステップ 6 確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。
-

サーバがブートした後は、[General] タブの [Overall Status] フィールドに [OK] ステータスが表示されます。

サービスプロファイルからのラックマウントサーバのブート

手順

-
- ステップ 1 [Navigation] ペインで [Servers] をクリックします。
 - ステップ 2 [Servers] > [Service Profiles] の順に展開します。
 - ステップ 3 サービスプロファイルを作成する組織のノードを展開します。
システムにマルチテナント機能が備えられていない場合は、[root] ノードを展開します。

- ステップ4 関連付けられたサーバをブートする必要があるサービス プロファイルを選択します。
- ステップ5 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。
- ステップ6 [Actions] 領域の [Boot Server] をクリックします。
- ステップ7 確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。
- ステップ8 [Boot Server] ダイアログボックスで [OK] をクリックします。
サーバがブートした後は、[General] タブの [Overall Status] フィールドに [ok] ステータスまたは [up] ステータスが表示されます。

モジュラサーバのブート順序の決定



ヒント

サーバに関連付けられているサービス プロファイルの [General] タブからもブート順序タブを表示できます。

手順

- ステップ1 [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。
- ステップ2 [Equipment] > [Chassis] > [Chassis Number] > [Cartridges] > [Cartridge Number] > [Servers] の順に展開します。
- ステップ3 ブート順序を決定するサーバをクリックします。
- ステップ4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。
- ステップ5 [Boot Order Details] 領域が展開されていない場合は、見出しの右側の [Expand] アイコンをクリックします。
- ステップ6 サーバに割り当てられているブート順序を表示するには、[Configured Boot Order] タブをクリックします。
- ステップ7 物理サーバ構成内のさまざまなデバイスから何がブートされるかを表示するには、[Actual Boot Order] タブをクリックします。
(注) [Actual Boot Order] では、[Internal EFI Shell] は常にブート順リストの最下部に表示されます。

モジュラサーバのシャットダウン

この手順を使用して、インストールされているオペレーティングシステムによりサーバをシャットダウンする場合、Cisco UCS Manager により、この OS のグレースフル シャットダウン シーケンスがトリガーされます。

[Actions] 領域の [Shutdown Server] リンクがグレー表示されている場合、そのサーバは動作していません。

手順

-
- ステップ 1 [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。
 - ステップ 2 [Equipment] > [Chassis] > [Chassis Number] > [Cartridges] > [Cartridge Number] > [Servers] の順に展開します
 - ステップ 3 シャットダウンするサーバを選択します。
 - ステップ 4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。
 - ステップ 5 [Actions] 領域で、[Shutdown Server] をクリックします。
 - ステップ 6 確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。
-

サーバが正常にシャットダウンされると、[General] タブの [Overall Status] フィールドに電源オフ状態が表示されます。

サービス プロファイルからのサーバのシャットダウン

この手順を使用して、インストールされているオペレーティングシステムによりサーバをシャットダウンする場合、Cisco UCS Manager により、この OS のグレースフルシャットダウンシーケンスがトリガーされます。

[Actions] 領域の [Shutdown Server] リンクがグレー表示されている場合、そのサーバは動作していません。

手順

-
- ステップ 1 [Navigation] ペインで [Servers] をクリックします。
 - ステップ 2 [Servers] > [Service Profiles] の順に展開します。
 - ステップ 3 サービス プロファイルを作成する組織のノードを展開します。
システムにマルチテナント機能が備えられていない場合は、[root] ノードを展開します。
 - ステップ 4 関連付けられたサーバをシャットダウンする必要があるサービス プロファイルを選択します。
 - ステップ 5 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。
 - ステップ 6 [Actions] 領域で、[Shutdown Server] をクリックします。
 - ステップ 7 確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。
-

サーバが正常にシャットダウンされると、[General] タブの [Overall Status] フィールドに [down] ステータスまたは [power-off] ステータスが表示されます。

モジュラサーバのリセット

サーバをリセットすると、Cisco UCS Manager により、リセットライン上にパルスが送信されます。オペレーティングシステムのグレースフルシャットダウンを選択することができます。オペレーティングシステムでグレースフルシャットダウンがサポートされていない場合、サーバ電源の再投入が行われます。Cisco UCS Manager に、サーバをリセットする前にすべての管理操作を完了させるオプションでは、これらの操作がサーバのリセット前に完了するかどうかは保証されていません。



(注) 電源切断状態からサーバをブートする場合は、[Reset] を使用しないでください。

この手順を使用して電源投入を続けると、サーバの望ましい電源状態が実際の電源状態と同期しなくなり、サーバが後で予期せずシャットダウンすることがあります。選択したサーバを電源切断状態から安全にリブートするには、[Cancel] をクリックし、[Boot Server] アクションを選択します。

手順

- ステップ 1 [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。
- ステップ 2 [Equipment] > [Chassis] > [Chassis Number] > [Cartridges] > [Cartridge Number] > [Servers] の順に展開します
- ステップ 3 リセットするサーバを選択します。
- ステップ 4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。
- ステップ 5 [Actions] 領域で [Reset] をクリックします。
- ステップ 6 [Reset Server] ダイアログボックスで、次の手順を実行します。
 - a) [Power Cycle] オプションをクリックします。
 - b) (任意) Cisco UCS Manager に、このサーバで保留中のすべての管理操作を完了させる場合は、チェックボックスをオンにします。
 - c) [OK] をクリックします。

リセットが完了するまでに数分かかる場合があります。サーバがリセットされると、[General] タブの [Overall Status] フィールドに OK ステータスが表示されます。

モジュラサーバの再認識

Cisco UCS Manager にサーバ、およびそのサーバのすべてのエンドポイントを再検出させる必要がある場合は、次の手順を実行します。たとえば、サーバがディスカバリ状態など、予期していなかった状態から抜け出せなくなっている場合に、この手順を使用します。

手順

- ステップ 1 [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。
 - ステップ 2 [Equipment] > [Chassis] > [Chassis Number] > [Cartridges] > [Cartridge Number] > [Servers] の順に展開します
 - ステップ 3 再確認するサーバを選択します。
 - ステップ 4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。
 - ステップ 5 [Actions] 領域で、[Server Maintenance] をクリックします。
 - ステップ 6 [Maintenance] ダイアログボックスで、[Re-acknowledge] をクリックし、次に [OK] をクリックします。
- Cisco UCS Manager はサーバを接続解除してから、サーバとシステム内の1つまたは複数のファブリック インターコネクトとの接続を確立します。確認が終了するまでに数分かかる場合があります。サーバが確認されると、[General] タブの [Overall Status] フィールドに OK ステータスが表示されます。

モジュラサーバからのインバンド設定の削除

この手順では、サーバからインバンド管理 IP アドレスの設定を削除します。このアクションがグレー表示されている場合、インバンド設定は完了していません。

手順

- ステップ 1 [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。
 - ステップ 2 [Equipment] > [Chassis] > [Chassis Number] > [Cartridges] > [Cartridge Number] > [Servers] の順に展開します
 - ステップ 3 インバンド管理 IP 設定を削除するサーバを選択します。
 - ステップ 4 [Work] 領域の [Inventory] タブをクリックします。
 - ステップ 5 [CIMC] サブタブをクリックします。
 - ステップ 6 [Actions] 領域で、[Delete Inband Configuration] をクリックします。
 - ステップ 7 [Delete] の確認ダイアログボックスで [Yes] をクリックします。
- サーバのインバンド設定が削除されます。

(注) Cisco UCS Manager でインバンド サービス プロファイルがデフォルト VLAN とプール名で設定されている場合、ここでインバンド設定を削除した約1分後、サーバ CIMC が自動的にインバンドプロファイルからインバンド設定を取得します。

サーバの稼働停止

サーバを一時的に UCSM 構成から削除するには、サーバの稼働停止を行います。

手順

-
- ステップ 1 [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。
 - ステップ 2 [Equipment] > [Chassis] > [Chassis Number] > [Cartridges] > [Cartridge Number] > [Servers] の順に展開します
 - ステップ 3 稼働を停止するサーバを選択します。
 - ステップ 4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。
 - ステップ 5 [Actions] 領域で、[Server Maintenance] をクリックします。
 - ステップ 6 [Maintenance] ダイアログボックスで、次の手順を実行します。
 - a) [Decommission] をクリックします。
 - b) [OK] をクリックします。サーバが Cisco UCS 構成から削除されます。
-

次の作業

サーバを物理的に取り付けなおす場合は、スロットを再認識して、Cisco UCS Manager にこのサーバを再検出させる必要があります。

モジュラサーバの再稼働

手順

-
- ステップ 1 [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。
 - ステップ 2 [Equipment] ノードを展開します。
 - ステップ 3 [Chassis] ノードをクリックします。
 - ステップ 4 [Work] ペインで [Decommissioned] タブをクリックします。
 - ステップ 5 再稼働する各サーバの行で、[Recommission] カラムのチェックボックスをオンにしてから、[Save Changes] をクリックします。
 - ステップ 6 確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。
 - ステップ 7 (任意) サーバの再稼働と検出の進行状況を、そのサーバの [FSM] タブでモニタします。
-

サーバのロケータ LED のオン/オフ切り替え

手順

-
- ステップ 1 [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。
 - ステップ 2 [Equipment] > [Chassis] > [Chassis Number] > [Cartridges] > [Cartridge Number] > [Servers] の順に展開します
 - ステップ 3 ロケータ LED のオン/オフを切り替えるサーバを選択します。
 - ステップ 4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。
 - ステップ 5 [Actions] 領域で、次のいずれかをクリックします。
 - [Turn on Locator LED] : 選択したサーバの LED を点灯します。
 - [Turn off Locator LED] : 選択したサーバの LED を消灯します。
-

モジュラサーバのローカルディスクのロケータ LED のオン/オフ切り替え

はじめる前に

- ディスクが配備されたサーバに電源が投入されていることを確認します。サーバがオフの場合、ローカルディスクのロケータ LED のオン/オフを切り替えることはできません。

手順

-
- ステップ 1 [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。
 - ステップ 2 [Equipment] > [Chassis] > [Chassis Number] > [Cartridges] > [Cartridge Number] > [Servers] の順に展開します
 - ステップ 3 ローカルディスクのロケータ LED のオン/オフを切り替えるサーバを選択します。
 - ステップ 4 [Work] ペインで、[Inventory] > [Storage] > [Disks] タブの順にクリックします。ストレージコントローラのインベントリが表示されます。
 - ステップ 5 ディスクをクリックします。ディスクの詳細が表示されます。
 - ステップ 6 [Details] 領域で、[Toggle Locator LED] をクリックします。

[Locator LED] の状態が [On] の場合は、[Off] に切り替わります。[Locator LED] の状態が [Off] の場合は、[On] に切り替わります。

ステップ 7 [Save Changes] をクリックします。

モジュラサーバの CMOS のリセット

非常に珍しいケースですが、サーバのトラブルシューティング時に、CMOS のリセットが必要になることがあります。この手順は、通常のサーバメンテナンスには含まれません。

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。

ステップ 2 [Equipment] > [Chassis] > [Chassis Number] > [Cartridges] > [Cartridge Number] > [Servers] の順に展開します

ステップ 3 CMOS をリセットするサーバを選択します。

ステップ 4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。

ステップ 5 [Actions] 領域の [Recover Server] をクリックします。

ステップ 6 [Recover Server] ダイアログボックスで、[Reset CMOS] をクリックし、[OK] をクリックします。

モジュラサーバの CIMC のリセット

現在実行されているファームウェアで問題が発生した場合など、非常に珍しいケースですが、サーバのトラブルシューティング時に、CIMC のリセットが必要になることがあります。この手順は、通常のサーバメンテナンスには含まれません。CIMC のリセット後、サーバは、そのサーバで実行されているバージョンのファームウェアを使ってブートされます。

CIMC をリセットすると、CIMC がリポートするまでの間、Cisco UCS の電力モニタリング機能が短時間使用不能になります。通常は 20 秒しかかかりませんが、その間にピーク電力制限を超える可能性があります。非常に低い電力制限が設定された環境で、設定された電力制限を超えないようにするには、CIMC のリポートまたはアクティブ化を交互に実施することを検討してください。

手順

-
- ステップ 1 [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。
 - ステップ 2 [Equipment] > [Chassis] > [Chassis Number] > [Cartridges] > [Cartridge Number] > [Servers] の順に展開します
 - ステップ 3 CIMC をリセットするサーバを選択します。
 - ステップ 4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。
 - ステップ 5 [Actions] 領域の [Recover Server] をクリックします。
 - ステップ 6 [Recover Server] ダイアログボックスで、[Reset CIMC (Server Controller)] をクリックし、[OK] をクリックします。
-

サーバからの NMI の発行

システムが応答しないままになっており、Cisco UCS Manager で、CIMC から Non Maskable Interrupt (NMI) を BIOS またはオペレーティング システムに発行する必要がある場合は、次の手順を実行します。このアクションにより、サーバにインストールされているオペレーティングシステムに応じて、コア ダンプまたはスタック トレースが作成されます。

手順

-
- ステップ 1 [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。
 - ステップ 2 [Equipment] > [Chassis] > [Chassis Number] > [Cartridges] > [Cartridge Number] > [Servers] の順に展開します
 - ステップ 3 NMI の発行元サーバを選択します。
 - ステップ 4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。
 - ステップ 5 [Actions] 領域で、[Server Maintenance] をクリックします。
 - ステップ 6 [Maintenance] ダイアログボックスで、次の手順を実行します。
 - a) [Diagnostic Interrupt] をクリックします。
 - b) [OK] をクリックします。
- Cisco UCS Manager は BIOS またはオペレーティング システムに NMI を送信します。
-

サーバのヘルスイベントの表示

手順

- ステップ 1** [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。
- ステップ 2** [Equipment] > [Chassis] > [Chassis Number] > [Cartridges] > [Cartridge Number] > [Servers] の順に展開します
- ステップ 3** ヘルスイベントを表示するサーバを選択します。
- ステップ 4** [Work] ペインで、[Health] タブをクリックします。
このサーバでトリガーされたヘルスイベントが表示されます。このタブのフィールドは次のとおりです。

名前	説明
[Health Summary] 領域	
[Health Qualifier] フィールド	コンポーネントに対してトリガーされるすべてのヘルスイベントのカンマ区切りの名前。
[Health Severity] フィールド	<p>コンポーネントに対してトリガーされるすべてのステータスイベントの最高重大度。次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • critical • major • minor • warning • info • cleared <p>(注) 重大度レベルが最高のものから順に記載されています。</p>
[Health Details] 領域	

名前	説明
[Severity] カラム	ヘルスイベントの重大度。次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> • critical • major • minor • warning • info • cleared (注) 重大度レベルが最高のものから順に記載されています。
[Name] カラム	ヘルスイベントの名前。
[Description] カラム	ヘルスイベントの詳細。
[Value] カラム	ヘルスイベントの現在の値。
[Details] 領域	[Details] 領域には、[Health Details] 領域で選択するヘルスイベントの [Name]、[Description]、[Severity] および [Value] の詳細が表示されます。

ヘルス LED アラーム

サーバのヘルス LED は各 Cisco UCS M シリーズ サーバの前面にあります。Cisco UCS Manager ではセンサー故障が発生すると、サーバヘルス LED の色が緑からオレンジ、またはオレンジの点滅に変わります。

ヘルス LED アラームには次の情報が表示されます。

名前	説明
[Severity] カラム	アラームの重大度。次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> • [Critical] : ブレードヘルス LED がオレンジで点滅します。これは赤色のドットで示されます。 • [Minor] : ブレードヘルス LED がオレンジに点灯します。これはオレンジ色のドットで示されます。
[Description] カラム	アラームの簡単な説明。
[Sensor ID] カラム	アラームをトリガーしたセンサーの ID。
[Sensor Name] カラム	アラームをトリガーしたセンサーの名前。

ヘルス LED アラームの表示

手順

-
- ステップ 1** [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。
- ステップ 2** [Equipment] > [Chassis] > [Chassis Number] > [Cartridges] > [Cartridge Number] > [Servers] の順に展開します
- ステップ 3** ヘルス LED アラームを表示する対象のサーバをクリックします。
- ステップ 4** [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。
- ステップ 5** [Actions] 領域で、[View Health LED Alarms] をクリックします。
[View Health LED Alarms] ダイアログボックスに、選択したサーバのヘルス LED アラームが一覧表示されます。
- ステップ 6** [OK] をクリックして、[View Health LED Alarms] ダイアログボックスを閉じます。
-

モジュラサーバの POST 結果の表示

サーバの電源投入時自己診断テスト中に収集されたすべてのエラーを表示できます。

手順

- ステップ 1 [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。
 - ステップ 2 [Equipment] > [Chassis] > [Chassis Number] > [Cartridges] > [Cartridge Number] > [Servers] の順に展開します
 - ステップ 3 POST の結果を表示するサーバを選択します。
 - ステップ 4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。
 - ステップ 5 [Actions] 領域で [View POST Results] をクリックします。
[POST Results] ダイアログボックスに、サーバの POST 結果が一覧表示されます。
 - ステップ 6 [OK] をクリックして [POST Results] ダイアログボックスを閉じます。
-